

どこがちがう？ 慣用句の直し③

なまえ _____

場めん に 合わない 慣用句を 直そう～人との かかわりの 場めん～

ひづけ _____

- ・問1～2は 下線が 引いて ある。問3からは、人との かかわりに 合わない 慣用句の ところに 自分で 下線を 引こう。
- ・場めん に 合う 慣用句に 直して、文ぜんぶを 横線に 書こう。ことばの おわりは かえて よい。
- ・問1～4は 下の 箱から えらぼう。箱の ない 問は、場めん に 合えば どの 慣用句でも よい。
- ・直さなくて よい 文は、下線を 引かずに、横線の 上に 『なおさない』と 書こう。

- (1) 場めん 重い にもつを 一人では 運べなかった。

友だちが 足を引っ張って くれた。

→ _____

- (2) 場めん 友だちの ひみつを、うっかり 話して しまった。

ぼくは 口が堅^{かた}かった。

→ _____

- (3) 場めん 父は どこへ 行っても、知り合いに 声を かけられる。

父は とても 顔が広い。

→ _____

- (4) 場めん クラスの みんなが 同じ 意見だった。

みんなは 口を挟^{はさ}んだ。

→ _____

- (5) 場めん 兄と 弟が けんかを した とき、母は 弟だけを かばって、味方に なった。

母は 弟を 鼻であしらった。

→ _____

- (6) 場めん 新しい 友だちと 話すと、好きな ものも 考え方も 同じで、すぐに なかよく なった。

わたしたちは 犬猿^{けんえん}の仲だった。

→ _____

- (7) 場めん けんかを した 友だちと、思っ ている ことを かくさずに ぜんぶ 話した。

ぼくは 猫^{ねこ}をかぶって 話した。

→ _____

- (8) 場めん 先生が 大切な 話を して いたので、みんな しずかに よく 聞いた。

みんなは 先生の 話に 耳にタコができた。

→ _____

- (9) 場めん 大玉おくりで、クラス全員が 気持ちを 合わせて 同じ ペースで 動いた。

クラス全員が 大きな顔を した。

→ _____

- (10) 場めん おばあちゃんは、庭の 花を 毎日 世話して、大切に 育てて きた。

おばあちゃんは 花を 手塩にかけて 育てた。

→ _____

ことばの 箱(問1～4で つかえます。つかわない ことばも あります)

口をそろえる

図に乗る

手を貸す

腹黒い

口が滑^{すべ}る



どこがちがう？ 慣用句の直し③【こたえ】

なまえ _____

場めん に 合わない 慣用句を 直そう～人との かかわりの 場めん～

ひづけ _____

- (1) 場めん 重い にもつを 一人では 運べなかった。

友だちが 足を引っ張って くれた。

→ 友だちが 手を貸して くれた。

○ 手を貸す=手つだう

× 足を引っ張る=じゃまを する

- (2) 場めん 友だちの ひみつを、うっかり 話して しまった。

ぼくは 口が堅かった。

→ ぼくは 口が滑った。

○ 口が滑る=うっかり しゃべって しまう

× 口が堅い=ひみつを 守る

- (3) 場めん 父は どこへ 行っても、知り合いに 声を かけられる。

父は とても 顔が広い。

→ 直さなくて よい

○ 顔が広い=知り合いが 多い

場めん に 合っ て いる ので 直さ ない。

- (4) 場めん クラスの みんなが 同じ 意見だった。

みんなは 口を挟んだ。

→ みんなは 口をそろえた。

○ 口をそろえる=みんなが 同じ ことを 言う

× 口を挟む=人の 話に わりこむ

- (5) 場めん 兄と 弟が けんかを した とき、母は 弟だけを かばって、味方に なった。

母は 弟を 鼻であしらった。

→ 母は 弟の 肩を持った。

○ 肩を持つ=味方 を して かばう(ほかに: 肩入れする)

× 鼻であしらう=ばかに して 冷たく あつかう

- (6) 場めん 新しい 友だちと 話す と、好きな ものも 考え方も 同じで、すぐに なかよく なった。

わたしたちは 犬猿の仲だった。

→ わたしたちは 馬が合った。

○ 馬が合う=気が 合っ て なかよく できる(ほかに: 気が合う)

× 犬猿の仲=とても 仲が 悪い

- (7) 場めん けんかを した 友だちと、思っ て いる ことを かくさず に ぜんぶ 話した。

ぼくは 猫をかぶって 話した。

→ ぼくは 腹を割って 話した。

○ 腹を割って話す=かくさず に 本心 を 話す(ほかに: 腹を割る)

× 猫をかぶる=本当の すがたを かくし て おとなしく 見せる

- (8) 場めん 先生が 大切な 話を して いた ので、みんな しずか に よく 聞いた。

みんなは 先生の 話 に 耳にタコができた。

→ みんなは 先生の 話 に 耳を傾けた。

○ 耳を傾ける=熱心 に 聞く(ほかに: 耳をすます)

× 耳にタコができる=同じ ことを 何度も 聞かされる

- (9) 場めん 大玉おくりで、クラス全員が 気持ちを 合わせて 同じ ペースで 動いた。

クラス全員が 大きな顔を した。

→ クラス全員が 足並みをそろえた。

○ 足並みをそろえる=みんな で 動きを そろえる(ほかに: 歩調を合わせる)

× 大きな顔をする=いばっ た たいどを とる

- (10) 場めん おばあちゃんは、庭の 花を 毎日 世話して、大切に 育てて きた。

おばあちゃんは 花を 手塩に かけて 育てた。

→ 直さなくて よい

○ 手塩に かける=大切 に 世話して 育てる

場めん に 合っ て いる ので 直さ ない。

○の つけ方

こたえは 一れい です。場めん に 合う 意味の 慣用句 なら、ここ に ない 慣用句 でも、おわりの かたち が ちがっ て も ○。

□ 下線 を 引けた □ 場めん に 合う 慣用句 に 直せた □ 直さなくて よい 文(問3・問10)は『なおさない』と 書けた